





ROTARY
WEEKLY
NEWS

事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
会長：熊谷 健 副会長：井上 修 幹事：小椋文成 公共イメージ向上委員長：太田明良



2024-2025 国際ロータリーのテーマ
ロータリーのマジック

2024-2025 RI会長
ステファニー A.
アーチック
＜米国ペンシルバニア州＞



第1712回 窪田雅則ガバナー補佐事前訪問例会 令和6年9月3日(火)



■ 点 鐘

12:30

■ ソング

君が代・奉仕の理想・四つのテスト

加藤篤ソングリーダー



■ ゲスト・ビジター紹介

- ・ RI 第 2600 地区上伊那グループガバナー補佐 窪田雅則 様
- ・ 支援留学生 エムディ・バディウル アラム 様
- ・ 米山奨学生 アミン, エムディ アル 様





今年度から慶祝（誕生祝）に、会員企業からの品物の他にもう一品、洋菓子を付けています。誕生祝をもう少し豪勢にしたいという会員からの声がありまして、今年から予算を増額しました。ところが、当初の目論見が外れてしまって、増額分の予算をどのように誕生祝に使ったらいいかということを経理で話し合った結果、さくら国際高校の伊那キャンパスに通う生徒が作った洋菓子を誕生祝として購入することで、その子供たち、生徒を支援しようということが決定しました。

そこで今日は、この広域通信制高校「さくら国際高等学校」についてお話したいと考えましたが、実は私よりもこのことをよく知っていて、この事業の支援団体「伊那まちベース」の運営にも携わっている太田会員がいらっしやいますので、太田会員から少し説明をさせていただきたいと思います。



【太田明良会員より】

みなさんこんにちは。

今日は、伊那まちベース及びその活動内での「若者ラボ」の説明のためにお時間をいただきありがとうございます。

熊谷会長からご説明があったかと思いますが、今年度の慶祝の贈答品として「若者ラボ」で作っているクッキーを提供させていただきます。

贈答品の採用時における理事会でのご説明、事前に熊谷会長には伊那まちベースや「若者ラボ」がどういったものかについて夜間例会時等の機会にご説明申し上げましたが、私の説明力が乏しいのか、伊那まちベースが抱えている活動のわかりにくさなのか、はたまた、熊谷会長の理解力が乏しいのか…おそらく私の説明力の問題かとは思いますが、ここでは、できるかわかりませんが、なるべくわかりやすくご説明をさせていただきます。

お手元に資料があると思われるのでそれをご参考にしてください。

伊那まちベース自体の説明はごくごく簡単にすると、子供からお年寄りまで、また、障がいの有無に関わらず、すべての人が相互に尊重しあいながら繋がる場所としての拠点づくりを目指しているところです。当初理念として「多様な参加者の連携により、多彩なおもい・価値の循環を生み出しつづけることで、だれもが気軽にかかわることができて共に認め合える安心安全なみんなの居場所をつくる」というものを発足当時の関係者できめました。運営主体としては、NPO法人伊那まちベースで、現在私がなぜか理事長に就任しております。拠点ができたのが令和3年11月からで活動自体は4年目に入ります。当初は日本財団の「子ども第三の居場所」事業の補助金をもらってスタートしたのですが、現在では自走するために日々努力している状況です。

そのなかの1部門として「若者ラボ」が位置付けられています。現在の子供たちは、私たちが子どもの時よりも社会はより複雑化・情報も高度化しており、我々大人が子供だった頃には想像もつかないほどの日々の生活に追われており、それゆえに生きづらさを感じている子供たちも多くいるように思われます。いわゆる不登校や普通級になじめない子供も増えているように感じています。そのような子供たちにも居場所を作る目的も伊那まちベースにはありますので、その一つの形が「若者ラボ」となります。

「若者ラボ」の具体的な活動としては毎週金曜日に併設しているキッチンと菓子製造ができるスペースを使って、高校生達が主体となってクッキー等のお菓子づくりをし、伊那まちベースの店頭で販売しています。現在活躍の中心となっている高校生は「さくら国際高校伊那キャンパス」の子たちで、いわゆる通信制の高校の子たちです。ここの子供たちは特性をもっていたり、普通級になじめなかったりと多様性に富んでおり、どちらかといえば生きづらさを感じている子が多い気がします。そのような子どもたちが、自分が作ったものが売れて食べてくれた人が喜んでくれるといった活動を通じて、いわゆる自己肯定感を高めてもらったり、社会と関係性をもつことの楽しさのようなものを感じてもらえればという思いで活動しています。

ただ、高校生達の力というのはこちらの思いをはるかに超えており、「若者ラボ」に来てくれている高校生達は、平日15時～18時にやっている伊那まちベースの「子どもの時間」に来て小学生たちの相手をしてくれたり、伊那まちベースの活動を超えて、地域のつながりの中で通町の「バラまちファッションショー」の実行委員や先日は通町の盆踊りを復活させようとする「ドラ盆踊り」の実行委員として活躍してくれたり、想像以上の活躍を見せてくれており、高校生達の力の可能性には目を見張るばかりで、私もがんばらねばと思う活力となっています。

以上、非常に簡単に説明させてもらいました。他にも伊那まちベースには、趣味のレコードを持ち寄って

お茶を飲みながら楽しむ「レコード喫茶」やデジタル格差解消のための「スマホカフェ」等のシニア達のコミュニティ活動や、そこでの参加者が子供の時間のスタッフになってくれたりと多層的な交流・関係作りの場という機能も芽吹いています。

とはいえ、NPO法人あるあるなのですが、今年度から補助金に頼らず自走することになり、運営資金が常に足りない状況です。皆様の温かい寄付がいただければ嬉しく思いますし、ロータリーが掲げるDEIを実現させようとしている場所でもありますので、ロータリーとして継続的支援がいただけると嬉しいです。そうでなくても、気軽にお立ちよりにいただき雰囲気だけでも味わっていただければと思います。

以上、ご清聴ありがとうございました。

太田さん、ありがとうございました。さくら国際高等学校の支援母体である「NPO法人子ども若者サポートハミング」のホームページによると、この法人の目的は「一人ひとりの子ども、若者に寄り添った多様な自立支援を行うとともに、本人や家族の孤立を防ぎ、誰にでも居場所と出番のある豊かで包容力のある地域社会を目指す。」ということになっています。

誕生祝が、このような青少年奉仕と社会奉仕に繋がっているということで、今年度1年は支援を続けていきたいと思っておりますので、ご理解をお願い致します。

■ 慶 祝

9月誕生祝い

・伊藤歩美会員 ・唐澤敏治会員 ・唐澤稔会員 ・宮下健会員



■ 米山奨学金の支給

・米山奨学生アミンさんへ熊谷会長より、ロータリー米山記念奨学会「9月分奨学金」が手渡されました。



■ ニコニコボックス

◆熊谷健

本日は、2600地区上伊那グループガバナー補佐 窪田雅則様、ようこそおいで下さいました。例会とクラブ協議会、よろしくお願い致します。

また、支援留学生アラム君・米山奨学生アミン君もようこそ。例会を楽しんで行って下さい。

◆小椋文成

窪田ガバナー補佐、ようこそお越し下さいました。本日はよろしくお願ひいたします。

◆伊藤かおり

窪田ガバナー補佐、本日はお越し頂きありがとうございます。宜しくお願ひ致します。

◆池田幸平

窪田ガバナー補佐、本日はありがとうございます。私は過去の人で気楽になりましたが、今年度の御活躍をご期待申し上げます。

◆伊澤和男

10月は米山月間です。またまたお世話になりますが、いつに変わらずよろしくお願ひします。

◆井上修

次のゴルフのメンバー表が届きました。ハンディ42。前回、鈴木さんに、恥ずかしくねえのかと叱責されましたが・・・恥ずかしくありません。しかしS A Aの伊藤かおりさんが40なので、やっぱり恥ずかしいかな。いやいや恥ずかしくありません。優勝候補。

■ 幹事報告

小椋文成幹事

幹事報告は別紙をご覧ください。

■ 理事会報告 小椋文成幹事

1. 米山記念奨学会より案内の「クラブ支援奨学金制度」について
2. 特定非営利活動法人ジャパンハート「20周年セレブレーション」へのお祝いについて
3. 9月の行事予定並びにメイクアップ扱いについて
4. その他

■ ガバナー補佐ご挨拶

・RI第2600地区上伊那グループガバナー補佐 窪田雅則 様



皆さんこんにちは。ガバナー補佐の窪田です。

ガバナー補佐の仕事もよく理解していませんが、昔は分区代理と呼ばれていたものが、ガバナー補佐と呼ばれるようになったようです。だいぶイメージが違いますが、ガバナーを補佐するのと上伊那地区をまとめる役目があると理解しています。

伊那中央には、池田直前ガバナー補佐がいます。まじめな池田さんを見習い、わからないことは、教えていただきながら進めています。

9月17日のガバナー訪問を前にポイントは3つあります

1. ガバナーの名前 白鳥敬日瑚（しらとりのりひこ）しらとりでなく、しらとりです。のりひこさんは難しい読み方です。1958年（昭和33年）生まれで、66歳、佐久コスモスロータリークラブ出身です。
2. 「ロータリーのマジック」今年のRIのテーマです。手品をするものではありません。ドミニカ共和国で浄水器の設置活動に行った時の話です。詳細は各自読んでおいてください。
3. 白鳥ガバナーは、とてもまじめな熱心な方です。小学生の教育が大切で、一生の基礎を作る時期だと言われています。そこで、夢の実現プロジェクトを中心に各クラブが取り組んでいます。詳細については、9月17日のガバナー訪問時に直接聞いていただきたいと思います。

伊那中央RCは、青少年の活動をしっかりやっているのので、その事業を継続して取り組むと聞いています。また上伊那のほかのクラブも、各クラブそれぞれの継続事業を進めることになりました。

今日はよろしくお祈りします。

■ 委員会報告

・8月30日（金）ロータリー財団委員会の報告 宮澤豊和ロータリー財団委員長



8/30に熊谷会長も含めた6人で植林事業の打合せを行いました。

当初10/12（土）の開催予定でしたが、インターアクト等のご都合もあり10/20（日）に変更させていただきました。

皆様ご参加の程よろしくお祈りいたします。

・8月31日（土）ロータリー財団地区セミナーの報告 小椋文成幹事

8月31日（土）に行われたロータリー財団地区セミナーの報告です。財団について第2地域ロータリー財団地域コーディネーター伊藤 靖祐様 (RID2760 江南 RC) より説明をいただきました。

・ポリオプラスの活動

2024年パキスタン・アフガニスタンで9名ずつの感染が確認されている。ガザでも25年ぶりにポリオ感染を確認している状況だそうです。あと少しという状況でしたが、引き続き感染0に向けて予防接種を続けていく。一人30ドルの寄付で50人にワクチンを打てるそうです。（経口ワクチン 1ヶ60セント）ポリオが根絶されると、日本の子どもたちも4種混合予防接種をする必要がなくなるそうです。

・財団補助金

仕組み シェアシステムです。

約84万ドルのうち運営費5%、50%の42万ドル地区財団活動資金DDFになり、そのうち21万ドルが地区補助金とグローバル補助金になる。残り50%の42万ドルは国際財団資金WFになる。

地区補助金・・・比較的小規模で、短期間のプロジェクトを支援。

地元や海外でますます必要とされる支援に取り組む。

グローバル補助金・・・7つの重点分野に一致し、持続可能且つ測定可能な成果が必要。

グローバル補助金奨学生・・・かなり大きな奨学金の制度であることをはじめて知りました。

あと、地区委員長より説明をいただきました。

基本的に知っている方は当たり前というような説明の仕方で、わかっていない人はその説明を聞いても分からないままという印象を受けました。全体で理解を進めていかないと、用途を制限されてまでわざわざ財団へ寄付しようと思わないという人が増えていくように感じました。

・8月31日（土）米山奨学地区セミナーの報告 伊澤和男米山記念奨学委員長



2024年8月31日(土)11:15～12:15オンラインセミナーで行われた。白鳥ガバナー挨拶、岡村委員長出席者紹介の後、米山学友オン・ユーシュエン（戸倉上山田RC）さんの講演がありました。マレーシアのペナン島出身、信州大学土木科卒業、現在は東京大学工学研究科で学ばれているとのこと。

2015年に家族旅行で日本に来て地下鉄に大変興味を持ち、留学し東大で学べるのは米山奨学金のおかげとのこと。今はマレーシア高速鉄道、バングラデシュ鉄道計画にも参画しているとのこと。大変積極的な人生を送られ、米山の趣旨もよく理解し、国と国の交流にも大いに役立っていることに感心しました。

最後に古川カウンセラーより講評として、海外の10の学友会の紹介や評価がされました。

・8月31日（土）行動計画推進に向けてのセミナーの報告 市川修次推進リーダー



8月31日にオンラインにてクラブ行動計画推進リーダーセミナーが行われました。白鳥ガバナー挨拶の後、地区行動計画推進リーダーの古川さんから「時代の変化に合わせる為に今まで単年度で作っていた計画に継続性を持たせるという事で、今年度はその準備の為に年度と考えている」との挨拶がありました。

そして第2地域行動計画推進リーダーの桑沢さんから「行動計画推進に向けて」というテーマで講演があり、特に今年度RI会長のアーチック氏がこのアクションプランを推進する事を24～25年度の重要な目標としているとの事です。その為にクラブに対して「1、クラブセントラルへの今年度目標の入力 2、3年間の目標フォーマットの入力 3、クラブ戦略計画の立案 4、目標設定の見直し 5、クラブ行動計画推進リーダーの選任」を求めています。

地区として今年度はこれの理解と浸透を図りたいとの事です。10月6日に「次年度会長エレクト、幹事研修」がありますがその中でもこのアクションプラン行動計画について話があるとの事です。

・「ロータリーの友」9月号紹介 池上幸平ロータリー情報委員



ステファニーA, アーチックRI会長のメッセージ

ロータリーのマジックとは「帰属意識」であり、それは思いがけない時に生じると言っています。

今年の初め、RI会長代理として6週間かけてヨーロッパを巡った際、当時、第2240地区ガバナーだったカタリナ・セコバさんが、祖母の故郷の村ヤクボバ・ヴォルアへの訪問も企画してくれ、そこで忘れることのできない歓迎を受けて感激し涙したと言っています。しかし、マジックはそれで終わりではなく、セコバさんの配慮により地元の家系図の専門家が映像作家と協力して、祖母についての短編映画を作成してくれていた。

このようなことを経験してからというもの、ロータリーファミリーのことが私の頭から離れません、と言っています。ロータリー会員である私たちには、このようなマジックを互いに、そして世界と分かち合う、またとない機会があります。このマジックを広め、ロータリーの会員が「ロータリーが自分の居場所」だと感じられるよう、自分にできることをぜひ考えてみてください、と言っています。

神々の棲む国ネパールで笑顔と出会う教育支援 橋本RC 喜多啓充氏

中国とインドに挟まれたネパールは、荘厳なヒマラヤの山々を望む景観も相まって「神々の棲む国」と称されます。そのネパールと私の関りは2000年9月、趣味の登山で友人とヒマラヤへ向かったことが始まりでした。

その登山後、わが第 2640 地区(大阪南部・和歌山)と第 2680 地区(兵庫)が合同で建設中の「岩村記念病院」の進捗状況を確認してくるよう依頼を受け、カトマンズから東へ約 15 kmのバクタブルという所に行きました。その素晴らしい奉仕活動を目の当たりにして、深く感動したのです。

地区主導で行ってきた国際奉仕活動は、「クラブ主導で」との方針に変わり、「橋本ロータリークラブにできることがあるだろうか?」と悩みましたが、ネパールを支援することに決めました。

ネパールの友人から「子どもが通う学校の数、全く足りていない」と耳にしました。それを聞いて思い出したのは、ヒマラヤの登山中、危険な山道を 1 時間以上かけて通学する子供たちの姿でした。ネパールの識字率が低いのは国際機関の報告にもあり、教育への関心が薄いのでは?と思う方がいるかもしれません。しかし、子供たちは長い道のりを歩いてまで学校に通おうとしていました。

2009 年 5 月、再びネパールへ。カトマンズの物価は高く、当初計画していた建設支援を変更して「さいたまユネスコ協会」の協力を得て、村の学校建設を支援することになりました。この活動をきっかけに、垣見一雅氏との出会いがありました。

その後も橋本ロータリークラブでは支援を続けました。しかし、地震以降、建設費等が高騰し、毎年度の継続支援は難しくなっていました。会員以外の方からも支援を得て、毎回 30 万～ 50 万円を支援のために拠出しています。地震後には、1000 枚の毛布を配り、学校建設以外にも活用させてもらっています。

そうした活動を通して、各学校の様子をつぶさに見てみると、高学年になるほど出席率が低下することに気がきました。理由は、ある程度の識字を身に付けた子どもは、さらに勉学に励むというより、労働力にされているという現実でした。日々の燃料となる薪を集めるのに 2～3 時間かけて森林まで行く子どももざらにいました。そこで、バイオガストイレの設置にも着手。一日 2 時間ほどですが、調理用ガスとして利用する仕組みです。バイオガストイレの設置は、子どもたちの仕事軽減だけでなく、家事軽減、喜びにも寄与することが分かりました。

【<継続による気付きを生かした事業>(前略) 私も、15 年近くにわたり現地での変化を肌で感じてきましたが、継続することで気付ける、支援すべき本質の部分、この事業では無駄なく、的確に行っているように思います。(後略)】橋本 RC 会長エレクト 辻俊之氏

この人訪ねて 相模原南 RC 中村辰雄さん

[マタギの里「阿仁」の心を忘れず各地の学校支援に忙しいアンパンマン]

秋田県の旧阿仁町(北秋田市)は秋田県のほぼ中心に位置し、江戸期から銀や銅を産出する阿仁鉱山で栄え、3 万人近くの人々が住んでいた時代もあったが、その鉱山も 78 年に閉山した。

(※私の会社の周りでも今年は熊に注意の看板やテレビなどの放送をして、大変迷惑をしています)

阿仁のマタギの第一人者、鈴木英雄さんの話を聞くことになった。「私たちはクマを駆除するという言葉は使わない。『授かる』と言います。山の神様の贈り物だね。」と言っていた。

中村さんの最近の活動が話題となった。「中村さんは長年、北海道のさいはての小学校に本を送ったり、津波で被害を受けた岩手の小学校を支援しているようです。」「彼の行動は 1 回で終わらない。必ず継続する。大槌小学校の支援も 15 回行ったようです。なかなかできることじゃないし、信念があるんでしょうね。」

■ 出席報告

会員数46名 出席免除会員5名 長欠会員1名 本日出席者29名 事前メイク1名
出席率75.00% 前回出席率 修正なし

■ 点 鐘

13:30

次回例会

9月10日(火) ゴルフ例会

- ・集合 9:00 ゴルフコンペ(信州伊那国際ゴルフクラブ)
- ・点鐘 18:30 夜間例会(海老屋料理店)